

瑞 都 第 3 6 7 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長様

瑞浪市長 水 野 光 二



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

市道路行政については、日頃から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました今後の道路行政についての意見・提案につきまして下記により回答致します。

記

1. ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（様式①）
②地域の現状と抱える課題（様式②）と目指すべき将来像（様式③）
③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）（様式④）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

岐阜県瑞浪市

地方に住む住民にとって道路は生活のため欠くことの出来ないものです。また、緊急時の輸送路確保を考えますと、まだまだ十分とは言えず市民からの強い要望を常に受けている状態です。

以前より道路整備の必要性を考え、道路特定財源堅持の要望活動もしてきましたが、一般財源化となり、今後の道路整備に対し大変危惧をしています。

地方にとって必要な道路はまだまだ多くあり、道路計画を車の交通量等で判断するのではなく、生活するうえで必要性の高い道路計画も考えていただきますようお願いします。

○現状

国道19号は東濃地域を東西に貫く、文化、経済の大動脈となっており、東濃5市発展の生命線であります。整備状況は瑞浪～恵那間を除き4車線化が完了していますが、唯一2車線区間が残された瑞浪～恵那間は、交通死亡事故の多発、信号交差点を中心とした慢性的な渋滞、深夜の大型車の走行による騒音等住民生活や交通利用者に多大な損失を強いています。

地方における幹線・生活道路の整備は十分とは言えず、当市においては南北を結ぶ道路が少なく災害時等緊急事態を考えると不安です。

○課題

県は東海環状道路西廻りルートを優先政策と位置付けているため、県負担分の予算獲得が難しい中、国道19号の4車線化が進まないのではないかと危惧しています。また、真に必要な道路は整備するとされていますが、地域が望む道路整備に対しご理解をいただきますようお願いします。

地域ニーズに沿った、地域と一体となった道路整備を、少ない道路財源の中で費用対効果を考え整備を進めるためにも道路臨時交付金等の制度を拡充されることを望みます。

「基礎的な生活基盤が整い、利便性のある生活」を確保するために、生活の基盤となる幹線及び生活道路の整備を関係機関と共に進め、安全で安心な生活が送れる社会、また、快適な生活を送れるよう努力します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

岐阜県瑞浪市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	岐阜県東濃5市を貫く国道19号で唯一2車線区間が残された瑞浪・恵那間は中央自動車道、土岐川、JRが並行し、現道拡幅できる余地が無いためバイパスで対応する。	瑞浪市に残された2車線区間には国道の両側に集落が張り付き、交通死亡事故が多く、また、迂回ルートも少なく慢性的な交通渋滞となっています。夜間には大型車走行が多く、騒音など住民に不便や我慢を強いっているが、バイパス建設により全てが解決する。 緊急時の避難路及び輸送路としての活用が望める。	